



産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞東京本社2016
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2
☎東京(03)3231-7111 (大代表)

購読のお申し込み ☎ 0120-70-3034
http://reader.sankei.co.jp/reader/
配達・集金などのお問い合わせ ☎ 0120-34-4646
紙面・記事へのご意見・ご質問 0570-046460
(平日9時~18時、土曜~17時、日祝日休み)
u-service@sankei.co.jp
産経ニュース http://www.sankei.com

滋養強壮・肉疲労時
妊婦授乳期の栄養補給に
キョーレオピン
キョーレオピンw 第3類医薬品
プレゼントキャンペーン実施中
お問い合わせは0120-39-0971
取扱店紹介は [わくなが](#) [徳島](#)

室内仮干し後に屋外へ

最近はおしゃれ着用洗剤などを使い、ニットやダウン(羽毛)を使った衣類を自宅で洗う人が増えている。しかし、冬物衣類はかさばって洗濯しにくい。え、寒い時期は洗濯物が乾きにくい。冬の衣類の洗濯方法やケアのコツを専門家に聞いた。(油原聡子)

早く乾かす

「日照時間の短い冬は一日中、屋外に干しても洗濯物が乾かない、と悩む人が多い。でも、ちょっとしたコツでスピードアップできますよ」。こう話すのは、洗剤メーカー「NSファーフア・ジャパン」(東京都墨田区) 研究開発本部の石井孝一さんだ。

石井さんが勧めるのは、脱水時間を標準よりも長めに設定すること。脱水時に乾いたタオルを1枚入れるのも効果的だ。タオルが洗濯物の水分を吸収し、脱水後の洗濯物の水分量が少なくなる。

洗濯のタイミングも重要だ。「夜のうちに洗濯し、室内で『仮干し』をしたう

冬の洗濯は「夜のうち」で時短

冬の洗濯のコツ

- ニット**
- 洗濯ネットを必ず使う
 - 平干しで



- ダウン**
- 脱水は短めに
 - 2~3日は室内干し



早く乾かすには

- 夜に洗濯、朝まで室内干し。外干しは朝から
- 脱水時間を標準より長く
- 干すときは、洗濯物の間隔を10分あけて、風を通す
- 洗濯物の下に新聞紙を置いて除湿する



えで、朝から室外で干すと効率的」と石井さん。

干し方にもポイントがある。温かい空気は上昇するため、室内ではなるべく天井近くの高いところに干す。石井さんによると、洗濯物の下に新聞紙を敷いておくと除湿できるという。

物干しさおには洗濯物を10分間隔で干し、風通しをよくしよう。長い丈のものと短い丈のものは交互にすると効率的に通気できる。

型崩れ防ぎ

冬の衣類の主役といえ

ば、セーターやカーディガンなどのニット製品。最近はおしゃれ着用洗剤を使って自宅で洗う人が増えている。ただ、洗い方や干し方が悪いと、縮んでしまったり、型崩れしたりしてしまうので注意が必要だ。

ニットを洗濯機で洗う場合のポイントは、きれいに畳んでびったり収まるサイズの洗濯用ネットに入れること。洗濯中の衣類の動きを最小限にし、他の衣類と絡み合わないようにして、型崩れを防ぐ。

「朝起きたらすぐ」が最多

洗濯をする時間は、「朝起きたらすぐ」という人が最も多いことが、ミキハウス子育て総研(大阪市北区)の調査で分かった。調査は昨年4月、0~6歳の子供を持つ男女421人を対象に実施した。

「いつ洗濯をすることが多いか」を尋ねたところ(複数回答)、「朝起きたらすぐに」(48.3%)が最多。「朝食後、午前中に」(32.1%)、「夕食後や風呂上がりに」(20.8%)と続いた。

洗濯機を回す頻度は「1日1回」が52.4%で最も多く、「1日2回以上」が24.1%だった。

干す前には、平らなところ

干す前には、平らなところに置いてしっかりとシワを伸ばしておく。ハンガーなどに掛けて干すと、重みで伸びてしまうので、平干し用の台などに載せる。台がない場合は、「室内のテーブルの上」にバスタオルを敷き、その上に置いて、時々裏表をひっくり返すとい

い」(石井さん)。

自宅の手洗する人が増えてきたダウン素材は、幅のあるハンガーにかけて干す。石井さんは「ダウン素材の場合は、中までしっかりと乾かすために2~3日は室内干しを。ある程度乾いたら、生地の上から羽毛をほぐして整えて」とアドバ

日頃のケアで

衣服を清潔に保つには、

コートは、表面だけでなく、襟や袖の内側など汚れやすいところもブラッシングしておく。

毎田さんは「ケアを習慣にする」と気持ちはよく過ぐせますよ」と話している。